



広報まちづくりかなうら

第22号 令和6年3月1日 金浦地区まちづくり自治協議会広報委員会

新年早々に発生しました能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様、ご家族・関係者の皆様にお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。一日も早い復旧と復興を心からお祈り申し上げます。

災害は決して他人事ではありません。今回は、災害発生時の「犠牲者ゼロ」を目指して、金浦地区の防災拠点施設となっている金浦公民館において開催いたしました「金浦地区避難所運営訓練」の概要について、ご紹介いたします。

- 開催日時 令和6年1月21日（日）9時～10時35分
- 開催場所 金浦公民館
- 参加者数 56名 笠岡市2名 警察署2名 公民館2名
消防団8名 まち協42名
- 訓練想定 和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード9.0の南海トラフ巨大地震が発生。市内では最大震度6弱を観測し、土砂災害、家屋倒壊等の被害発生。沿岸部に1mの津波が予想され、避難指示が発令。



能登半島地震の被災状況を目の当たりにし、本番さながら真剣に訓練しました。

金浦地区避難所運営訓練

1 開会式

挨拶 筒井清人会長
 笠岡市危機管理部 箱田昭部長
 訓練概要説明 高橋邦彦防災部会長

2 避難所運営訓練

- ・避難所開設 ・災害対策本部設置
- ・避難者受付 ・避難者誘導
- ・パーティション設置
- ・段ボールベット設置
- ・簡易トイレ、発電機等の設置
- ・避難用屋外テントの設置

★セミブラインド方式で開催

事前に訓練の進行やシナリオを作成せず、想定のみで実施する実践的な訓練



筒井会長 挨拶
 能登半島地震が発生した。TKB48といって48時間以内にトイレ、キッチン(食事)、ベットを避難所で用意することが求められている。このことを踏まえ訓練していただきたい。



高橋部会長 訓練概要説明
 災害発生時には、市職員だけでは避難所運営はできない。地区住民が主体となって、避難所を運営するが、今回は、セミブラインド方式で開催する。どうしたらいいか考えながら取り組んでほしい。

避難者受付 (総務班)



避難者には「発熱者」や「視覚障がい者」役の方もおられます



消防団の皆様には訓練前に避難の呼びかけを広報していただきました
 ありがとうございました

避難者誘導 (情報班)



「受付が済まれたら、こちらのスペースをお願いします」



開会に当たり、能登半島地震で犠牲となられた方々に黙祷

パーティション、資機材設置 (施設管理班)



パーティション (プライベートルーム) 設置!



段ボールベットはやや苦戦! 「いつもと違うなあ?」



簡易トイレも完成しました!



「苦戦したけど寝心地はますますですよ」



避難用屋外テント 雨よけ、風よけになる横幕付きです



発電機もスタンバイOK



LEDの投光器はとても明るいです



ポータブル電源は便利です

まち協 topic No.1

金浦地区まちづくり自治協議会の活動拠点を幼稚園に移転要望

- ・まち協では、金浦幼稚園の廃園に伴い、旧園舎を活動拠点として活用したいと考え、笠岡市に借り受けを要望しています。
- ・民生・児童委員会、行政協力委員会、社会福祉協議会等と共同利用したいと考えています。



金浦幼稚園
保育室



遊戯室

まち協 topic No.2

社会福祉協議会・公民館・まち協等による世代間交流

- ・まち協では社協等とともに金浦小学校5年生との世代間交流「米作りから餅つきまでの一貫事業」に協力しています。コロナのため3年間中断していましたが今年度再開しました。
- ・6月の田植え、10月の稲刈りに続き、11月には、とれた米で餅をつき、みんなでおいしくいただきました。



6月の田植え



11月の餅つき

まち協 topic No.3

金浦地区空家調査について笠岡市からコメントをいただきました

- ・まち協による「空家調査」は、詳しい現地の状況がとてもよく分かり、空家行政の追い風となっています。
- ・「空家調査」をはじめとするまち協の活動が地域全体の発展に寄与するよう、市としても尽力してまいります。

〈笠岡市 伊藤隆弘所長 井上源也主事〉



「ここはどう？」
空家調査

まち協 topic No.4

金浦中学校1年生SDGs教育への支援

- ・まち協では、令和3年度から、金浦中学校でのSDGs教育を支援しています。
- ・このたび、1年生に対して、課題決定に役立ててもらうため、まち協から活動の概要を紹介しました。

*SDGsエスディーズ：持続可能な開発目標



課題決定の参考に…

編集後記

今回の第22号は、避難所運営訓練を中心に紹介しています。訓練は、繰り返し何度も実施することにより初めて成果が生きてくると言われています。まち協では、これからも継続して訓練を実施してまいりたいと存じます。